

「市長記者会見」の概要

■日時 令和7年9月30日（火）午後1時30分

■会場 千曲市役所 応接会議室・庁議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、屋代有線放送、読売新聞、長野市民新聞

■内容（プレスリリース）

- 1 「信州さらしな・おぼすて観月祭 2025」の開催
- 2 戸倉保育園基本設計（案）の意見募集

■市政全般について

【質疑応答】

○屋代駅の市民ギャラリーに関する条例について

問 千曲市議会9月定例会において「千曲市屋代駅市民ギャラリー条例の全部を改正する条例制定について」の議案が否決となりましたが、受け止めはいかがでしょうか。

回答 主に若い人たちが集まる場所を想定したフリースペースを設置する目的で条例改正について議案を提出しましたが、今回否決となり非常に残念に思っています。この案件につきましては、以前から議会への説明を行いながら議論できる時間を確保して進めてきたところですが、今回多くの指摘を受け否決に至ったということは非常に残念に思っています。

問 今後の利用形態はどのようになりますか。

回答 現在の利用状況は、学習スペースなどで子どもたちが自由に使える場所として、また、あらゆる世代の方が自由に利用できるスペースとして開放していますので、しばらくはこの状況での利用となります。

また、展示物の展示場所が奪われてしまうのではないかと認識されている方もおられるようですが、市役所のマルチルームが活用できるなど代替施設があります。このため、著しく文化団体等の皆さんの展示の機会が奪われてしまうものではありませんので、このような状況について、議会の皆さんに丁寧にお伝えしていきたいと考えています。

問 市民ギャラリーの壁への掲示についてはいかがでしょうか。

回答 新しい市役所がない時代については、市民ギャラリーを展示場所として活用してきましたが、現在は新しい建物ができ、より快適な展示空間が確保できていますので、こちらを活用いただきたいと思います。また、事前の申し込みがあれば、従来どおりの使用も可能です。

○姨捨の棚田の保全・維持管理等について

問 姨捨の棚田の保全・維持管理について、現状の認識と今後の方策についてのお考えをお聞かせください。

回答 棚田貸します制度は、棚田の保全・維持管理のためにできた制度ですが、制度施行から 30 年が経過し、棚田保全の各種団体の皆さんの高齢化が進んでいます。今後における棚田の保全・維持管理につきましては、団体の皆さんとの意見交換を通じて、担い手の確保や財政支援など検討をしているところです。

問 人材の確保については、何らかのインセンティブがないと難しいと思われませんが、いかがでしょうか。

回答 姨捨の棚田は日本遺産に認定され、姨捨（田毎の月）として国の名勝指定も受けており、文化的価値が高い資源です。市としましても、次の世代に維持できるような取り組みについて、今まで以上に力を入れていきたいと考えています。

問 保全管理については、現在も委託をしていると思いますが、委託料を増額することなども考えていますか。

回答 今後の検討の中で、どのような対応が良いのか考えていきたいと思っています。

○自民党の総裁選挙について

問 自民党の総裁選が行われていますが、これまでの論戦の中で何か思うことなどがありましたら教えてください。

回答 総裁選における議論の中で、地方が自由に使うことができる交付金について話されている場面がありました。それぞれの自治体によって課題は異なりますので、市独自の事業に充てることができる財源があると非常に心強く思います。総裁選につきましては論戦を尽くしていただき、日本をより良い国にしていきたいと思います。

終了 午後 1 時 57 分